

令和元年度 事業報告書

江別市社会福祉協議会（以下「当協議会」）では、平成27年度に策定した第3期地域福祉実践計画（以下「計画」）に基づき、毎年度事業推進方針と基本計画を定めて具体的な事業を進めてまいりました。

元年度は、計画の最終年次を迎え、自治会・福祉団体などこれまで培ってきた協働の成果を基盤として、「暮らしの安心を支える地域福祉」の実現を目指し、身近な地域での生活支援やボランティア活動の推進など様々な福祉課題に対応する事業活動を積極的に展開しました。

そして、この計画の5カ年の点検・評価に基づき、第4期地域福祉実践計画（令和2年度～6年度）を策定しました。

以下、元年度事業の実施結果について報告します。

目次

基本計画1	地域福祉に関する課題把握、情報提供や相談支援体制の整備	1
基本計画2	ボランティア活動で進める福祉の環境づくり	7
基本計画3	市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進	10
基本計画4	体験学習、研修による福祉意識の醸成	13
基本計画5	自立した生活を支援する福祉サービスの提供	15
基本計画6	地域に信頼される社協運営のための組織づくり	18
★	会務の運営、基本計画以外の主な活動	26

基本計画 1 地域福祉に関する課題把握、情報提供や相談支援体制の整備

市民が福祉サービスを利用しやすくするための情報提供と生活全般にわたる困りごとや悩みごとに対応できる相談支援体制の整備に努めました。

(1) 地域の福祉課題の把握

第4期地域福祉実践計画策定の基礎資料として、自治会・施設・福祉団体・ボランティア団体などを対象としたアンケート調査を平成31年3月に実施し、回答結果を報告書として整理し、第4期地域福祉実践計画策定に向け策定部会などで活用しました。

(2) 広報活動による福祉情報の提供

① 社協だより「幸せな社会」の発行

身近な地域の福祉情報を掲載した広報誌「幸せな社会」を年4回発行（発行1回につき約42,000部）し、自治会の協力を得て市内全自治会員に配布するとともに、ホームページ掲載、公共施設への配置及び関係団体などへ送付し、福祉情報を発信しました。

また、表紙など一部カラー印刷や写真を活用し、市民にわかりやすい誌面づくりに努めるとともに、拡大版を作成し公共施設などへの設置やボランティアセンター登録団体の点字ろくの会の協力を得て、誌面を点字化し、視覚に障がいのある方へ情報提供しました。

② ホームページの運営

当協議会の運営・事業内容やタイムリーな福祉・ボランティア情報の掲載と更新に努めました。

【アクセス件数】 3,318件

③ 社協事業活動の説明

当協議会ボランティアセンター登録団体など関係機関・団体の会議に積極的に出向き、「社協紹介パンフレット」を活用し、事業内容などについて説明し、理解が深まるよう努めました。

また、「2019年度版社協要覧」を作成し、福祉団体・施設などへ配布し、PRに努めました。

【説明先】 ケアハウスゆうあい（入居者）、北翔大学教育文化学部心理カウンセリング学科実習、江別ロータリークラブ

(3) 福祉サービスの適正化、苦情対応

当協議会が提供する福祉サービスに寄せられる苦情・意見などについて、電話での対応のほか現地へ出向くなど適切な対応に努めました。

- 【具体例】・給食サービスの遅配、味付けなどに関すること
- ・除排雪に関すること（作業の仕方や時間など）

(4) 生活課題に対応した総合的な相談支援

① 生活困窮者自立支援事業の実施（市受託事業）

くらしサポートセンターえべつ（以下「くらしサポ」）では、対象者像に合わせた就労支援と役割を創出する活動の充実に注力するとともに、関係機関への事業説明や、ブログでの情報発信も含め、事業周知活動にも努めました。

【相談支援実績】 新規相談件数：307件 支援延べ回数：3,280回
プラン作成件数：64件

【支援調整会議】

市所管課（管理課）担当職員、市保護課職員、就労準備支援事業所しごとサポートセンターコクリ（以下「コクリ」）職員、くらしサポ相談支援員により、自立に向けたプランの確認や、事業の進め方、相談内容の対応などについて協議しました。

開催回数：45回

【江別市生活困窮者自立支援ネットワーク会議】

生活困窮者が抱える多様で複合的な問題について、関係機関などが連携し情報共有を行うとともに、支援に必要なネットワークを構築するために開催しました。また、参加依頼を教育・福祉・警察・法律・NPO・企業など多様な機関へ行う事で、分野横断的なネットワークの構築を図りました。

開催回数：1回（18機関29名参加）

【就労支援】

コクリやハローワークなど就労支援機関との連携はもとより、ハローワークでの求職が困難な方々（背景に病気・障がい・社会経験の乏しさなど）への支援の充実に向けて取り組みました。

- ・就労体験先等の開拓に向けて

企業など訪問数 7カ所

- ・無料職業紹介事業

求人登録数 3件 求職登録者数 2人 就労決定者数 2人

- ・江別市版中間的就労事業の実施

雇用契約を伴わない就労の形として、市内企業2社と協定を結びプログラム化。

延べ回数 27回 延べ参加人数 116名 作業料 80,800円

*** 中間的就労：**一般企業などですぐに働くことが難しい方を対象に、訓練として支援付きの就労の場（軽作業など）を提供する事業。事業者との雇用契約は無いものの、参加者に一定の作業料を支払う。

【事業周知・説明】

ブログや社協だより「幸せな社会」、市広報誌での情報発信などの周知活動を実施しました。また、福祉団体などに対し事業説明を行いました。

説明カ所数 6カ所

【ひきこもりサテライトカフェ in 江別の開催】

NPO法人レターポストフレンド相談ネットワークと協働し、当事者とその家族が気兼ねなく参加できる居場所づくりを模索しました。

また、市内各領域の支援機関へ参画を要請することにより、多機関協働で開催することができました。

開催回数：5回 延べ参加人数 138名

【家計支援実績】

家計に関する助言や、滞納解消及び債務整理に関する支援、貸し付けの斡旋など、相談者自ら家計改善に取り組めるよう支援しました。

実介入件数：197件

プラン作成件数：26件

② 権利擁護の体制整備と相談支援

ア) 日常生活自立支援事業の実施（道社協受託事業）

北海道社会福祉協議会（以下「道社協」）から受託して行っている当事業を円滑に実施するため指揮監督者、自立生活支援専門員（いずれも職員兼務）及び生活支援員を配置し、福祉サービスの利用や生活費管理などに不安を抱えている方々を対象に、その支援や重要な書類の預かりなどを行い、地域で安心して生活できるようにサポートしました。

【契約件数】 24件（新規5件）（前年度比2件増）

【生活支援員登録者数】 25人（新規4人）（前年度比1人増）

イ) 成年後見実施機関の運営及び事業の実施（市受託事業など）

江別市成年後見支援センターでは、成年後見制度の相談支援及び広報用パンフレットの作成や地域向け講演会開催などにより制度普及・利用促進に努めるとともに、市民後見人候補者の資質向上を図るためフォローアップ研修を実施しました。

また、当協議会では成年被後見人等の権利を擁護するために法人後見業務を

実施しました。

*** 市民後見人**：専門職（弁護士、司法書士、社会福祉士など）及び親族の成年後見人などではなく、地方自治体が行う後見人養成講座などにより一定の知識・技術・態度を身に付け、実際に家庭裁判所から選任されて成年後見人などの法律行為を行う一般市民の方。

【相談支援実績など】 新規相談件数 139件 延べ相談件数 876件
延べ相談支援回数 929回 申立支援件数 16件
後見開始審判の市長申立要請 3件
受任調整会議 6回

【法人後見】 年度未受任14件（受任8件、終了2件）

【市民後見人個人受任】 1件（法人後見支援員→市民後見人個人受任1件）

【市民後見人フォローアップ研修】

- ・第1回／令和元年6月12日（水）「相続・遺言・遺産分割協議の制度内容と具体的な事例に関する講義」「死後事務対応の事例検討及び報告」
- ・第2回／令和元年12月20日（金）「市民後見人個人受任についての説明」「市民後見人個人受任における事例や心構え・成年後見制度の最近の動向について」「第3回暮らしと成年後見を考える研修会」

【普及啓発】

- ・社協だより「幸せな社会」やホームページでの情報発信
- ・パンフレット（法定後見・任意後見・遺言・日常生活自立支援事業の内容含む）を作成し地域向け講演会時に配布、随時相談者へ配布
- ・出前講座の実施／野幌北地区民児協定例会、大麻南自治会定例会、江別南自治会定例会、介護ママの会、大麻第三住区自治連合会
- ・地域向け講演会の開催／令和元年11月2日（土）江別市民会館「～笑いで理解を深めよう！成年後見制度～」 121人参加

【関係機関との会議等】

- ・後見実施機関運営会議（12回）、江別市成年後見実施機関運営協議会（2回）、権利擁護人材養成市町村セミナー、家事関係機関と家庭裁判所との連絡協議会、暮らしと成年後見について考える研修会（2回）

【登録管理】

- ・市民後見人及び後見支援員の登録意向確認を実施
- ・年度末登録者／市民後見人22人、後見支援員22人

③ 生活安定のための貸付金を活用した相談支援

生活困窮・障がい者世帯に対し、使途目的に応じた資金の貸し付けを行い、日常生活の支援に努めました。

また、相談の複雑化などに対応するため、前年度に引き続き生活資金相談員を配置し、円滑な業務の推進に努めました。

【相談者件数】

区 分	元年度	30年度	増減
生活福祉資金	延161件	延93件	延68件
福祉金庫	延157件	延138件	延19件
電 話	延192件	延102件	延90件
計	延510件	延333件	延177件

ア) 生活福祉資金の貸付（道社協受託事業）

道社協の「生活福祉資金貸付事業」の取り扱い窓口として、各種資金を貸し付けました。

【貸付実績】 ※各欄上段が貸付件数・下段が貸付金額

区 分	元年度	30年度	増減
福祉資金	1件 293,000円	1件 170,000円	0件 123,000円
教育支援資金	16件 19,439,000円	7件 11,836,000円	9件 7,603,000円
緊急小口資金	27件 3,770,000円	9件 745,000円	18件 3,025,000円
総合支援資金	0件 0円	1件 300,000円	△1件 △300,000円
計	44件 23,502,000円	18件 13,051,000円	26件 10,451,000円

イ) 特別生活資金の貸付（道社協受託事業）

道社協の「特別生活資金貸付事業」の取り扱い窓口として、冬期の生活を確保する資金を貸し付けました。

【貸付実績】

区 分	元年度	30年度	増減
貸付件数	1件	0件	1件
貸付金額	50,000円	0円	50,000円

ウ) 福祉金庫の貸付

当協議会の独自事業として、一時的に生活費が必要となった世帯に4万円を限度として、応急的な資金を貸し付けました。

【貸付実績】

区 分	元年度	30年度	増減
貸付件数	118件	95件	23件
貸付金額	4,520,000円	3,510,000円	1,010,000円

④ ボランティアによる日常生活上の悩みごとに関する相談支援

相談活動を主とするボランティアセンター登録3団体の協力を得て、火・金曜日の悩みごとテレホン相談及び木曜日の認知症の介護相談を実施しました。

【協力団体】 江別家庭生活カウンセラーグループ、江別市家庭問題研究会、江別認知症の人の家族を支える会

【相談件数】 97件（前年度比18件増）

⑤ 生活支援体制整備事業の実施（市受託事業）

生活支援や介護予防の充実を図るため、江別市主催の協議体への参加、各種研修会及び住民主体で行うサロンへの参加を通じ、事業推進に必要な情報収集に努めるとともに、地域住民・団体が「支え合いのまちづくり」を進めていく上での助言や、第2層生活支援コーディネーター（地域包括支援センター）との協働、関係機関などとのネットワークづくりに努めました。

また、通いの場同士のネットワーク化を目的にサロン交流会を開催し、通いの場同士の情報交換、多様な団体同士が継続的に意見交換できる関係を構築する機会となりました。

その他、通いの場情報誌の発行、訪問だよりの発行、社協広報誌にてサロンなど開催状況の掲載（シリーズ化）を通じ、市内における活動例の周知に注力しました。

更に、コープさっぽろ江別店に協力いただき、江別第一地域包括支援センターとの共催により「ちょこっと茶屋」を開催しました。

【会議への参加】

江別市生活支援体制整備協議体への出席など 20回

【研修会等への参加】

学習会、講演会への出席など 17回

【関係機関との情報交換・情報収集・情報提供活動】

江別市の各部署、その他関連団体との情報交換など 130回

【地域活動への参加】

地域サロン、子ども・地域食堂への見学・参加など 116回

【その他】

通いの場情報誌の発刊、通いの場訪問だよりの発行、ちょこっと茶屋の開催、

広報活動（情報誌、訪問だより配布含む）、サロンなど立ち上げ希望者への支援、サロン紹介DVDの作成、サロン交流会の開催（17団体29名参加）、介護新聞への記事掲載、医療と介護ナビへの記事掲載、視察受け入れ、地域交流スペース有無のアンケート調査実施 など

基本計画2 ボランティア活動で進める福祉の環境づくり

市民がボランティア活動に積極的に参加できるよう支援し、地域福祉の担い手として活動しやすい環境づくりに努めました。

(1) ボランティアセンターの運営

① ボランティア活動の相談・登録、活動先紹介

ボランティア活動の相談受付、登録、ボランティア活動への協力依頼に対するボランティアへの情報提供及び活動希望者の調整・確保に努めました。

ア) ボランティアセンター登録団体・個人状況

区 分	登 録 状 況		増 減
	元年度末	30年度末	
団 体	60団体 1,446人	55団体 1,451人	5団体 △5人
個 人	182人	170人	12人
合 計	1,628人	1,621人	7人

イ) 社会福祉施設などへのボランティア協力

高齢者福祉施設や障がい児者施設などでの行事、在宅高齢者への支援及び相談活動などに協力しました。

【ボランティア協力活動実績】

活 動 区 分	延活動人数（人）		増減（人）
	元年度	30年度	
高 齢 者 施 設	4,308	5,244	△936
障がい者施設・団体	528	665	△137
認 知 症 高 齢 者	1,962	1,825	137
託 児	53	50	3
在宅高齢者・障がい者支援	1,062	954	108
相 談	157	148	9
そ の 他	285	277	8
合 計	8,355	9,163	△808

② ボランティア活動の基盤整備

安心して活動に取り組める基盤の整備に努めました。

ア) ボランティア活動保険の加入

ボランティア活動中の万が一の事故に備え、加入の促進に努めました。

【取り扱い件数】 4, 078人

(登録ボランティア：1,719人／愛のふれあい活動：1,001人／自己加入者1,358人)

イ) ボランティア団体助成金の交付

ボランティアセンター登録団体の活動を支援するため助成金の交付や各団体の民間助成金の交付申請手続きを支援しました。

◆団体への活動助成金 59団体 1, 190, 000円

◆民間助成金団体

・北海道地域活動振興協会ボランティア活動支援事業助成金

「札幌斎藤支部門人会大麻千鳥会」「たすけあいサークルよつば会」

「ツインクル」「長生民謡会」「江別市芸能赤十字奉仕団」「ナルク江別」

「朗読ボランティアグループまちの灯」「大麻ベーネアンサンブル」

「江別市水上安全赤十字奉仕団」の9団体に助成

③ ボランティア団体連絡会の運営

登録ボランティア団体で構成される「江別市ボランティア団体連絡会」を運営し、情報交換と交流の促進及び当協議会と協働してボランティア活動を展開しました。

各団体の活動内容はホームページに掲載し、市民にお知らせしました。

【総会及び役員会・講演会】

開催日 令和元年6月17日(月)

場所 総合社会福祉センター

講演会 「江別を知ろう」

講師：江別市商工労働課職員

(2) ボランティアの育成・確保

① ボランティア活動者研修の開催

ボランティア活動者に参加をいただき、活動の充実を図ることを目的に、令和2年2月26日(水)「認知症とは何か? その人らしく支えるケアを考える」として個人ボランティア向け研修会及び令和2年3月23日(月)「手話理解を深めよう」としてボランティア団体会員向け研修会を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染予防の観点からボランティア活動者研修を中止しました。

② 傾聴ボランティアの育成

当協議会と江別市ボランティア団体連絡会が協働して、悩みや寂しさを抱える高齢者の話し相手をボランティア活動で行い、「聴く」ことにより心の不安を軽減することを目的に実施しました。

ア) 第15期養成研修

日 程	令和元年11月5日(火)～8日(金)の期間中、4日間 (15時間)の講義、実習
場 所	総合社会福祉センター、老健のっぽろ(実習施設)
講 師	シニア・ピア・カウンセラー 松坂 志津枝 氏
受講者数	8人

イ) 実行委員会

【第1回】

開 催 日	令和元年11月8日(金)(養成研修閉講日)
場 所	総合社会福祉センター
内 容	傾聴ボランティア事業の概要説明 傾聴ボランティア認定証交付
参加者数	7人

【第2回】

開 催 日	令和2年2月17日(月)
場 所	総合社会福祉センター
内 容	グループワークと意見交換による傾聴活動の基本の再確認
参加者数	13人

ウ) ステップアップ研修(全道傾聴フォーラムへの参加)

開 催 日	令和元年10月27日(日)
場 所	かでの2.7
内 容	基調講演「傾聴とは『自分から歩み寄る』こと」 基調講演後、5つの分科会に別れて参加
参加者数	9人

エ) 活動実績(再掲)

16個人・32施設に対し、延べ2,178人(前年度比437人減)が活動しました。

基本計画3 市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進

身近な地域でのつながりや絆を深め、安心して暮らせる地域づくりの活動支援の充実に努めました。

(1) 愛のふれあい交流事業の実施

様々な機会を利用して、自治会に「地域交流の集い活動事例集」や「社協紹介パンフレット」などを活用し、当事業への取り組みを働きかけました。

① 愛のふれあい活動の実施

ボランティアグループを編成し、ひとり暮らしの高齢者などへの安否確認などの助け合い活動に取り組む自治会を支援しました。

【実施状況】

地 区	実施自治会数（自治会）			対象世帯数（世帯）			ボランティア延人数（人）		
	元年度	30年度	増減	元年度	30年度	増減	元年度	30年度	増減
江 別	19	21	△2	526	526	0	857	885	△28
野 幌	33	33	0	663	656	7	1,446	1,336	110
大 麻	33	31	2	789	699	90	1,538	1,547	△9
合 計	85	85	0	1,978	1,881	97	3,841	3,768	73

② 地域交流の集い活動の実施

地域の高齢者・障がいのある方の閉じこもりを予防し、身近な住民による交流を促進するための活動に取り組む自治会を支援しました。

【実施状況】

地 区	実施自治会数（自治会）			実施事業数（回）		
	元年度	30年度	増減	元年度	30年度	増減
江 別	27	28	△1	101	109	△8
野 幌	32	31	1	106	110	△4
大 麻	39	39	0	124	128	△4
合 計	98	98	0	331	347	△16

(2) 江別市共同募金委員会との協働

江別市共同募金委員会が実施する赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金運動に協力するとともに、助成金の確保に努めました。

① 赤い羽根共同募金運動への協力

令和元年10月1日から展開された赤い羽根共同募金運動へ協力しました。

【募金実績】 7,914,996円（前年度比124,452円減）

★当協議会への共同募金助成状況

区 分	事 業 名	助成額（円）		
		元年度	30年度	増 減
市町村 地 域 助 成	愛のふれあい交流事業	150,000	200,000	△50,000
	ボランティア団体育成	150,000	200,000	△50,000
	傾聴ボランティア養成研修	0	39,000	△39,000
	江別ふれあい福祉の広場	0	107,748	△107,748
	広報誌「幸せな社会」発行	595,783	600,000	△4,217
道地域 助 成	ワークキャンプ	110,000	110,000	0
	行事用テントの幕購入	128,520	115,560	12,960
合 計		1,134,303	1,372,308	△238,005

② 歳末たすけあい運動への協力

令和元年12月1日から展開された歳末たすけあい募金運動へ協力しました。

また、令和元年12月23日（月）、寄せられた募金を活用し、民生委員・児童委員の調査により対象となった生活支援世帯へ見舞金を贈呈しました。

【募金実績】 4,807,254円（前年度比47,081円減）

【歳末たすけあい募金助成】

★見舞金の贈呈状況

区 分	元年度		30年度		増 減	
	世帯数（世帯）	見舞金額（円）	世帯数（世帯）	見舞金額（円）	世帯数（世帯）	見舞金額（円）
生活支援世帯	523	2,711,000	541	2,948,000	△18	△237,000

★福祉事業への助成状況

助成先	元年度		30年度		増 減	
	団体数(団体)	助成金額(円)	団体数(団体)	助成金額	団体数(団体)	助成金額(円)
障がい児・者団体 及びその家族会	5	216,000	5	227,000	0	△11,000
地域福祉推進団体	2	65,000	2	67,000	0	△2,000
合 計	7	281,000	7	294,000	0	△13,000

★当協議会への歳末たすけあい募金助成状況

事 業 名	助成額(円)		
	元年度	30年度	増 減
ハーフデイボランティアスクール	100,000	100,000	0
除雪派遣サービス	920,000	950,530	△30,530
合 計	1,020,000	1,050,530	△30,530

(3) 江別ふれあい福祉の広場の開催

障がい者団体、福祉団体及びボランティア団体などの参画により開催し、多くの市民が集いました。

また、「スポーツレクリエーション」は、協力団体・施設の意見や考え方について聴取し、その内容に基づき江別ふれあい福祉の広場の実行委員会において協議した結果、今後参加者数の確保が困難なことから事業廃止を決定しました。

開 催 日	開 催 場 所	来場者数
ふれあい福祉の広場 令和元年7月21日(日)	江別市総合社会福祉センター	約5,000人

【内 容】

◆ふれあい福祉の広場

- ・社会福祉功労者顕彰(P27参照)並びに赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金助成金交付
- ・ふれあいバザー ・ふれあい演芸大会 ・ふれあいピアガーデン
- ・ふれあいコーナー ・共同募金寄付金グッズを活用した募金活動など

(4) 企業・団体の地域貢献活動への支援

自治会、施設・団体、企業が行う社会貢献活動や地域行事などへの協力要請に対し、活動先の紹介、連絡調整及び活動備品の貸し出しなどの支援に努めました。

◆活動備品の貸出

・テント	8自治会	7施設	13団体
・机	3自治会	11施設	18団体
・椅子	3自治会	8施設	13団体

◆社会貢献活動への協力

- ・札幌地方自動車整備振興会江別支部、江別自転車組合会、江別ロータリークラブ（車椅子無料点検）
- ・株式会社カーブスジャパンフードドライブ事務局（緊急支援用食糧寄贈）
- ・江別管工事業協同組合（ひとり暮らし高齢者宅水廻り無料点検）
- ・北海道コココーラ株式会社（福祉施設への清涼飲料水寄贈）
- ・生命保険協会札幌協会、JAIFA札幌協会（福祉巡回車寄贈）
- ・江別ロータリークラブ（介護用電動ベット寄贈）
- ・江別消費者協会（消費者のひろば開催）
- ・札幌東法人会（高齢者疑似体験教材セット）

基本計画4 体験学習、研修による福祉意識の醸成

福祉施設などと協働し、青少年はじめ市民に体験の場や研修の機会を提供し、福祉意識の醸成に努めました。

(1) 地域福祉活動者研修会の開催

自治会役員などを対象に、地域活動に活かせるレクリエーション技術を自ら体験しながら習得していただき、「愛のふれあい交流事業」などに役立てていただくことを目的に、令和2年3月11日（水）「すぐに使えるレクリエーション」として研修会を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染予防の観点から地域福祉活動者研修会を中止しました。

(2) 福祉施設での体験学習

① ワークキャンプ（福祉施設介護体験学習）の開催

高校生を対象に、福祉施設の協力を得て、支え合う心の大切さを学ぶ機会として食事介助、アイマスクを着用しての歩行体験、施設利用者との交流などを行いました。

【開催内容】

開催期間	参加者数	場所
令和元年8月7日(水) 8日(木) (同じプログラムで2日間の開催)	14人	静苑ホーム
令和2年1月7日(火)	5人	静苑ホーム
計	19人	(前年度比参加者数4人増)

② ハーフデイボランティアスクールの開催

小・中・高生を対象に、福祉施設の協力を得て、施設に対する理解を深め、ボランティア活動に取り組むきっかけとなることを目的に開催し、施設利用者との交流、作業体験を行いました。

【開催内容】

開催日	参加者数	場所
令和元年11月16日(土)	1人	えべつデイサポートニルシ
	1人	えべつ明友荘
	1人	静苑ホーム
	1人	友愛ナーシングホーム
	1人	あすか就労継続支援施設
	2人	北光保育園
	1人	野幌季節保育所
計	8人	(前年度比参加者数3人増)

(3) 総合的な学習の時間や学校・大学の福祉活動への協力

総合的な学習の時間に伴う体験用具の貸し出しやボランティア派遣を通して協力しました。

◆体験用具の貸出

- ・疑似体験セット 小学校3校
- ・車椅子 小学校4校
- ・アイマスク 小学校4校

- ◆ボランティア派遣 小学校5校

(4) いきいきシニアスクールの開催

江別市シルバーウィークの一環として、高齢期に生きがいを持ち、住み慣れた地域で安心・安全な生活を送る一助となることを目的に開催しました。

【開催内容】

開催日 令和元年9月10日（火）
 場所 総合社会福祉センター
 内容 テーマ「防災・減災のはなし」
 講師 江別市総務部 危機対策室職員
 参加者数 江別市高齢者クラブ連合会関係者 67人

基本計画5 自立した生活を支援する福祉サービスの提供

住み慣れた地域で安心して自立した生活を送れるように、各種の福祉サービスの提供に努めました。

(1) 雪処理への支援

① 福祉除雪サービスの実施（市受託事業）

高齢・重度の身体障がいなどで除雪が困難な世帯を対象に公道（車道）除雪後に残る「置き雪」の処理をロータリー車、ショベルカーを使用し実施しました。

【実施期間】 令和元年11月1日～令和2年3月31日

【利用料金】 1間口3m以内（追加料金は1間口12,430円）

種 別	市からの助成金	利用者自己負担額	合 計
市・道民税非課税世帯	22,600円	13,700円	基本料金 36,300円
同均等割課税世帯	17,510円	18,790円	
同均等割・所得割課税世帯	12,410円	23,890円	

【実施状況】

地 区	元年度（世帯）		30年度（世帯）		増 減 （A－B）
	利用世帯数（A）	（Aの内、新規）	利用世帯数（B）	（Bの内、新規）	
江 別	292	（67）	259	（27）	33
野 幌	319	（68）	286	（43）	33
大 麻	197	（29）	194	（27）	3
合 計	808	（164）	739	（97）	69

② 除雪派遣サービスの実施

高齢・重度身体障がいなどで除雪が困難な世帯を対象に作業協力員により玄関先から公道までの除雪を実施しました。

作業協力員確保のため、江別市シルバー人材センターのほか、札幌勤労者企業組合、障がい者就労移行支援事業所との契約に加えて、独自に作業協力員の確保も行い、利用対象全世帯にサービスを提供しました。

【実施状況】

地 区	利用世帯数（世帯）		
	元年度	30年度	増減
江 別	53	49	4
野 幌	39	47	△8
大 麻	54	48	6
合 計	146	144	2

③ 「えべつ雪の処理情報誌」の作成

市民の様々な除排雪の要望に対応するため、除排雪作業・料金などの内容を事業者別に記載した情報誌を発行するとともに、公共施設などに配置したほか、自治会の協力を得て回覧するなど、きめの細かい情報提供を行いました。また、雪処理を行う事業者一覧を社協だより「幸せな社会」に掲載しました。

【掲載事業者数】 28事業者掲載（前年度比3事業者減）

(2) 高齢者・障がい者給食サービスの実施（市受託事業）

疾病・障がいにより食事の支度が困難な高齢ひとり暮らし世帯・夫婦世帯などに夕食を届けました。また、配送時に安否確認を行い消防など関係機関と連携し、利用者の緊急時の対応を行いました。

また、配食事業者1社が30年度末で廃業したことから、市と協議し、事業者の選定を行い、利用世帯に支障が生じないように3社体制により配食体制の確保に努めました。

【配食実績】

地 区	利用数	ひとり暮らし世帯（世帯）			高齢夫婦世帯（世帯）			障がい者世帯（世帯）			高齢者+障がい者（世帯）			合計（世帯）		
		元年度	30年度	増減	元年度	30年度	増減	元年度	30年度	増減	元年度	30年度	増減	元年度	30年度	増減
江 別	世帯数	74	95	△21	8	12	△4	4	2	2	0	0	0	86	109	△23
	食数	74	95	△21	16	24	△8	4	2	2	0	0	0	94	121	△27
野 幌	世帯数	54	62	△8	11	10	1	2	3	△1	0	2	△2	67	77	△10
	食数	54	62	△8	22	20	2	2	3	△1	3	4	△1	81	89	△8
大 麻	世帯数	52	53	△1	7	5	2	6	9	△3	0	1	△1	65	68	△3
	食数	52	53	△1	14	10	4	6	9	△3	0	2	△2	72	74	△2
合 計	世帯数	180	210	△30	26	27	△1	12	14	△2	0	3	△3	218	254	△36
	食数	180	210	△30	52	54	△2	12	14	△2	3	6	△3	247	284	△37

【年間配食実績】 68,404食（前年度比4,715食減）

(3) 障がい児者移動支援事業の実施

江別市が福祉サービスの利用を決定した身体・知的障がい児者の社会生活上、必要な外出・余暇活動・社会参加などの介助のために、ガイドヘルパーを派遣しました。

【実施状況】 ガイドヘルパー数 18人 ガイドヘルプ利用者数 26人

【利用実績】

利 用 内 容	件数 (件)		
	元年度	30年度	増減
健康・体力づくりや余暇活動などのための外出	167	227	△60
医療機関への相談又は受診	142	130	12
公的施策などによって開催される研修・講座への参加	0	0	0
一般市民向けの各種行事への参加	28	32	△4
福祉活動を目的とした団体行事などへの出席	234	191	43
奉仕活動のための外出	1	1	0
児童の外出の手助け	0	0	0
学校行事への参加	0	0	0
その他の外出	347	237	110
合 計	919	818	101

(4) 福祉機器の貸与

① 福祉機器の貸与

疾病・障がいがある方の日常生活を支援するため、福祉機器を貸与しました。

【貸与状況】

福 祉 機 器	保有台数 (台)	貸与件数 (延貸与月数) (件)		
		元年度	30年度	増減
車 椅 子	189	1,068	1,154	△86
介護用手動ベッド	22	118	137	△19
介護用電動ベッド	69	536	510	26
歩 行 器	40	159	180	△21
計	320	1,881	1,981	△100

② 福祉ベルの設置

江別市緊急通報システム設置待機者を対象に、身体急変時の緊急連絡用として福祉ベルを設置しました。

【設置状況】

区 分	江別地区 (件)	野幌地区 (件)	大麻地区 (件)	合計 (件)
30年度までの設置数	1	8	3	12
元年度設置数	1	0	0	1
元年度返却数	0	1	0	△1
計	2	7	3	12

(5) 北光保育園・野幌季節保育所の運営

農村地域の児童の健全育成と子育て支援の一環として開設している北光保育園及び野幌季節保育所を運営しました。

【保育児童数】

区分 保育所名	元年度年齢別保育児童数 (人)					30年度 計 (人)	増減 (人)
	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計		
北光保育園	7	4	6	10	27	29	△2
野幌季節保育所	1	3	1	0	5	7	△2
合計	8	7	7	10	32	36	△4

基本計画6 地域に信頼される社協運営のための組織づくり

地域福祉推進の中核的な役割を發揮できる組織づくり、市民から信頼される運営体制の確立に努めました。

(1) 組織体制の整備

当協議会の運営、事業への市民・福祉団体の参加の促進や行政との連携に努めました。

① 行政との連携

特に、下記内容について、市と連携・協議のうえ、実施しました。

- ◆くらサポ相談支援員が毎週事業の進め方や相談内容などについて支援調整会議を開催し協議【再掲】
- ◆江別市成年後見支援センターの運営、受任調整会議の開催内容及び具体的な後見受任ケースなどについて協議
- ◆生活支援コーディネーター業務の進め方及び生活支援体制整備事業の実施や周

知方法について協議

- ◆今後の保育所運営の在り方、人員体制及び保育士の処遇や確保について協議
- ◆本年度途中で急を要した新たな給食サービス調理・配食事業者の確保・選定について協議【再掲】
- ◆第4期地域福祉実践計画策定のため、江別市地域福祉計画策定委員会の事務局として参画

② 部会・委員会組織の活性化

部会・委員会を開催し、当協議会の運営に市民・福祉団体の意見・考え方を積極的に反映しました。

【部会・委員会開催状況】

会 議 名	開催回数	開催年月日
総務部会	1回	R元. 8. 28
地域福祉部会	1回	R元. 8. 28
合同（総務・地域福祉）部会	2回	R元. 8. 28 R2. 2. 25
広報編集委員会	4回	R元. 6. 10 R元. 9. 9 R元. 12. 9 R2. 3. 9
福祉金庫管理委員会	1回	R元. 5. 16
災害対策会議【再掲】	1回	R2. 2. 17
江別市成年後見支援センター 受任調整会議	6回	H31. 4. 19 R元. 8. 7 R元. 10. 11 R元. 11. 27 R2. 1. 17 R2. 3. 27
地域福祉実践計画策定部会	3回	R元. 10. 2 R元. 12. 11 R2. 2. 25

③ 役職員などの研修・資質向上

ア) 役員・評議員研修の実施

役員・評議員が当協議会事業の内容について理解を深める機会として開催しました。

令和元年度は、当協議会にとって高齢者などの権利を擁護し、暮らしの安心を支えるための重要な取り組みとなっている江別市成年後見支援センターや法人後見事業の役割や機能について改めて理解を深めることを目的に、平

成30年度に引き続き、市から受託の成年後見制度普及啓発事業の一環として一般市民を対象に開催した成年後見制度講演会を当研修に位置付し実施しました。

【開催内容】

開催日 令和元年11月2日（土）
 場 所 江別市民会館
 参加者数 40人
 講 演 『漫才で学ぶ成年後見制度』
 漫才師 青空一風 千風さんによる掛け合い漫才

イ) 研修会への参加

役員が、社会福祉の現状や今後の動向などについて理解を深めるため参加しました。

【参加研修会】

研 修 会	開 催 日	場 所	人数
令和元年度法人役員研修	R元. 11.13	札幌市	3人

ウ) 職員の資質向上

当協議会の課題について、調査・研究することを目的に、職員の自主性を重視した研修年次計画を策定し、その計画に基づき研修を行うとともに、道社協主催研修会などに職員を派遣し、資質向上に努めました。

【研修年次計画に基づく研修】

研 修 日 令和元年12月17日（火）
 研修職員数 1人
 研 修 内 容 各市町村における事業と事業推進における課題及び情報交換
 研 修 先 札幌市

【主な派遣研修会】

研 修 会	開 催 日	場 所	人数
危険物取扱者保安講習	R元. 6. 4	江別市	1人
安全運転管理者講習	R元. 6. 11	〃	1人
北海道地域生活支援センター自立生活支援専門員・生活支援員研修会	R元. 6. 11	札幌市	1人
石狩管内社協職員連絡協議会総会及び研修会	R元. 6. 28	北広島市	4人
	R元. 11. 21	〃	3人
	R2. 1. 22	札幌市	3人

生活福祉資金貸付事業初任者研修会	R元. 6. 28	札幌市	1人
ひきこもりサテライトカフェin小樽	R元. 7. 17	小樽市	1人
市民活動スタッフ養成講座	R元. 7. 19	札幌市	1人
暮らしと成年後見について考える研修会	R元. 8. 7	江別市	3人
多重債務者相談等に係る勉強会	R元. 8. 27	札幌市	1人
生活困窮者自立支援制度に係る人材養成研修に係る検討会	R元. 9. 9	〃	1人
公的職業訓練施設見学会	R元. 10. 7	〃	1人
成年後見制度学習会	R元. 10. 16	〃	1人
生活福祉資金貸付事業研修会	R元. 10. 25	〃	2人
民事調停制度説明会	R元. 11. 13	〃	1人
生活支援コーディネーター連絡会議	R元. 11. 18	〃	1人
地域における権利擁護システム構築セミナー	R元. 11. 28	〃	2人
石狩地区別課題対応会議	R元. 12. 17	〃	2人
社協職員先進地域福祉活動視察研修	R元. 12. 17	〃	1人
家事関係機関と家庭裁判所との連絡協議会	R元. 12. 18	〃	1人
道社協自立生活支援専門員研修会	R元. 12. 19	〃	1人
生活困窮者自立支援制度関係研修	R2. 1. 24	〃	2人
道央圏における生活困窮者支援制度に携わる社会福祉の集い	R2. 1. 25	〃	1人
北海道における広域連携意見交換会	R2. 2. 14	〃	1人

(2) 財源基盤の整備

当協議会の運営や福祉活動を推進するため財源基盤の整備に努めました。

① 会員会費制度の定着・促進

住民・福祉団体などとの協働を進めるうえで基本的な財源となる会員会費制度の定着・促進に努めました。

【会員会費状況】

区 分	件 数			備 考
	元年度	30年度	増減	
第1種会員会費 (世帯会費)	38,360世帯	38,395世帯	△35世帯	1世帯 年額300円
第2種会員会費 (施設会費)	42施設	41施設	1施設	50人未満 5,000円 50人以上 7,000円 100人以上 200人未満 10,000円
第3種会員会費 (団体会費)	91団体	90団体	1団体	1団体 3,000円 *ボランティアセンター登録団体は人数による
第4種会員会費 (特別会費)	705個人・事業所	678個人・事業所	27個人・事業所	1口 1,000円以上
合 計	39,198件	39,204件	△6件	

② 社会福祉基金の積立・運用

寄付金を安全確実な方法で運用するとともに、利息4,869,000円を各種地域福祉事業に充当しました。

【元金積立及び運用内訳】

積立・寄付状況	金 額 (円)	運用内訳 (元年度末)
30年度までの元金積立額①	135,955,632	政府保証債 (年利率1.662%) 100,000,000円 金融機関預金 37,258,997円
元年度寄付金受入額②	1,303,365 内訳・篤志寄付 1,230,334 ・つもり寄付 73,031 寄付件数 72件	【内訳 (ペイオフ対策による管理)】 定期預金 (年利率0.01%) 10,000,000円 定期預金 (年利率0.01%) 10,000,000円 定期預金 (年利率0.01%) 10,000,000円
元年度末元金積立額 (①+②)	137,258,997	10,000,000円 普通預金 (年利率0.001%) 7,258,997円

③ 共同募金からの助成金の確保 (P11~12 参照)

④ 一般寄付金の活用

直接、当該年度事業に充当できる制度として活用し、特に、江別市高齢者クラブ連合会女性部からの寄付金40万円で電動ベット2台を購入しました。

また、一般財団法人北海道信用金庫ひまわり財団から10万円が寄付され、在宅福祉サービス、ボランティア活動の推進に役立てました。

【寄付取扱実績】 件数 27件 寄付金額 872,830円

⑤ 各種事業コストの検討

福祉除雪サービスの利用料金の適正化について市及び江別環境整備事業協同組合と協議した結果、令和2年度は、利用料金及び利用世帯への市助成金額の改定を行うこととしました。

また、作業委託費の増に伴う除雪派遣サービスの利用料金の適正化については、令和2年度から作業1回当たり500円から600円に改定を行うこととしました。

保育園の保育料の適正化については、給食費の見直し、保育料無償化に伴う市からの牛乳費補助の打ち切りなどに伴い、令和2年度から保育料の改定を行うこととしました。

(3) 事務事業の改善

事務局評価などを通して、事務事業の内容を精査し、改善に努めました。

【主な改善事項】

- ・心身のリフレッシュを目的に、該当する職員については、年5日以上の子有給休暇を取得することを義務化
- ・職員の長時間労働防止と健康保持を目的に、出退勤時間を適正管理するため、タイムカード方式を導入
- ・令和2年2月17日（月）令和元年度第1回災害対策会議を開催し、災害時の職員配備体制を整備し、災害対策計画を一部改訂

(4) 総合社会福祉センターの管理運営

福祉団体等が利用する地域福祉活動の拠点施設として、また、高齢者が集う交流の場として運営しました。

正面玄関庇の雨水を排水する排水管の老朽化と錆の発生による劣化が著しく亀裂が生じ、漏水が発生したことから市と協議し、工事を実施しました。

また、健康増進法の改正により、受動喫煙を防止するため、総合社会福祉センター敷地内を全面禁煙といたしました。

更に、新型コロナウイルス感染予防の観点から、総合社会福祉センター利用者へ自粛要請を行いました。

【月別利用状況】

月	利用者数（人）			月	利用者数（人）		
	元年度	30年度	増減		元年度	30年度	増減
4	4,475	4,213	262	10	4,707	4,916	△209
5	4,218	4,161	57	11	4,358	4,319	39
6	4,447	4,533	△86	12	3,748	3,618	130
7	3,790	3,738	52	1	3,306	3,220	86
8	3,475	3,982	△507	2	3,060	3,677	△617
9	4,266	3,258	1,008	3	939	4,107	△3,168
計					44,789	47,742	△2,953
累計（昭和57年度～令和元年度）					2,255,453人		

(5) 防災・災害対策の推進

当協議会の災害時の役割である災害ボランティアセンターの運営マニュアル概要版をホームページに掲載するとともに、市総合防災訓練、消費者のひろば、生涯学習フェスティバルなどのイベント及び「社協事業活動の説明」の機会に当センターについて説明し、PRに努めました。

令和2年2月17日（月）令和元年度第1回災害対策会議を開催し、災害時の職員配備体制を整備し、災害対策計画を一部改訂しました。【再掲】

令和元年12月2日（月）開催の道社協主催「石狩地区災害ボランティア組織連携会議」及び令和2年1月29日（水）開催の「石狩地区社協職員連絡協議会研修」に職員を派遣し、災害ボランティアセンターの活動事例の報告や実際の運営場面をシュミレーションした体験学習などについて研修しました。

また、令和2年3月18日（水）には、総合社会福祉センターで職員による火災消防訓練を実施しました。

(6) 地域福祉実践計画の進行管理

合同（総務・地域福祉）部会において、計画の執行状況について管理し、円滑な推進を目指すため、6基本計画・47個別実践事業について、令和元年度1回目の評価を実施しました。

全体としては、日常生活自立支援事業、法人後見事業及び障がい児者移動支援事業などについては、実績増に対して円滑な対応・連絡調整に努め、支障なく安定したサービスを提供したことに高い評価を受け、その結果、基本計画では、4計画で「評価4」、個別実践事業では、47事業全てが基準点の「評価3」以上で、その内

「評価4」が24事業でした。

令和元年度は全般にわたり、順調な推進状況と評価されました。

なお、令和元年度の最終評価は、令和2年9月頃実施予定です。

【基本計画評価結果】

分 類	基本計画の主な内容と評価結果					
基本計画1	地域福祉に関する課題把握、情報提供や相談支援体制の整備 [生活困窮者自立支援事業など13事業] <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td>5</td> <td style="background-color: #cccccc;">4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table> </div>	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1		
基本計画2	ボランティア活動で進める福祉の環境づくり [ボランティア活動の基盤整備など5事業] <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td>5</td> <td style="background-color: #cccccc;">4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table> </div>	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1		
基本計画3	市民参加で進める地域での生活支援や交流活動 [愛のふれあい活動など5事業] <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td>5</td> <td>4</td> <td style="background-color: #cccccc;">3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table> </div>	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1		
基本計画4	体験学習、研修による福祉意識の醸成 [ワークキャンプの開催など4事業] <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td>5</td> <td>4</td> <td style="background-color: #cccccc;">3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table> </div>	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1		
基本計画5	自立した生活を支援する福祉サービスの提供 [給食サービス事業など7事業] <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td>5</td> <td style="background-color: #cccccc;">4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table> </div>	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1		
基本計画6	地域に信頼される社協運営のための組織づくり [社会福祉基金の積立・運用など13事業] <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td>5</td> <td style="background-color: #cccccc;">4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table> </div>	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1		

★会務の運営、基本計画以外の主な活動

(1) 会務の運営

① 三役会（会長・副会長・常務理事会議） 12回

開催日	開催日	開催日
平成31年 4月12日(金)	令和元年 8月 9日(金)	令和元年12月 6日(金)
令和元年 5月29日(水)	令和元年 9月12日(木)	令和2年 1月16日(木)
令和元年 6月17日(月)	令和元年10月29日(火)	令和2年 2月17日(月)
令和元年 7月 8日(月)	令和元年11月14日(木)	令和2年 3月 9日(月)

② 理事会 5回

開催日	開催日	開催日
令和元年 6月12日(水)	令和元年10月 4日(金)	令和2年 3月16日(月)
令和元年 6月26日(水)	令和元年12月18日(水)	

③ 評議員会 2回 書面による同意（決議）1回

開催日	書面による同意（決議）
令和元年 6月26日(水)	令和2年 3月25日(水)
令和元年10月15日(火)	

④ 監事監査 4回

開催日	開催日
令和元年 5月30日(木)	令和元年12月11日(水)
令和元年 8月30日(金)	令和2年 3月11日(水)

⑤ 評議員選任・解任委員会 2回

開催日	開催日
令和元年10月10日(木)	令和2年 3月19日(木)

(2) 社会福祉功労者顕彰

社会福祉功労者を江別ふれあい福祉の広場開催時に表彰し、感謝の意を表しました。

【被顕彰者数】 表彰 41人 感謝 10人

(3) ボランティア研修事業などへの参加

①石狩地区ボランティアネットワーク協議会（主催：道社協）

【開催内容】

開催日 令和元年8月29日（木）

場所 かでる2.7（札幌市）

参加者数 2人

内容 石狩管内社協におけるボランティア活動の情報交換について

②石狩地区ボラネットスキルアップ研修会（主催：道社協）

【開催内容】

開催日 令和元年11月5日（火）

場所 札幌市社会福祉センター

参加者数 4人

内容 石狩管内ボランティア情報交換会

(4) 障がい児者施設の作品展示・販売

障がい児者への理解を図ることを目的に、障がい児者施設の作品を総合社会福祉センターロビーに設置している「福祉の店」で展示・販売しました。

【販売数】 ぼかし、固形石鹸、ポーチなど 合計 78点

(5) 福祉団体・ボランティア団体写真展の開催

江別ふれあい福祉の広場の開催に合わせ、福祉団体・ボランティア団体・施設などの活動をPRすることを目的に、令和元年7月21日（日）から28日（日）までの期間、総合社会福祉センターで写真展を開催し、52団体（前年度比8団体増）から出展がありました。

(6) 社協だより「幸せな社会」への広告掲載

広告料による自主財源の確保に努めました。

【広告掲載実績】 掲載事業者数 7社 広告料 115,000円